

# 日本地域学会ニューズレター

平成 15 年 no.1

平成 15 年 2 月 1 日

## 目 次

I.	会長挨拶	...	2
II.	総会報告	...	3
	北星学園大学で開催された日本地域学会総会についての報告		
III.	理事会報告	...	4
	平成 14 年度第 5 回ー第 10 回理事会についての報告		
IV.	編集委員会報告	...	6
	『地域学研究』第 33 巻の編集についての報告		
V.	役員人事等	...	7
	2003・2004 年 期役員人事について		
VI.	平成 15 年度 日本地域学会 会費納入のお願い	...	11
	平成 15 年度国内および国際会費請求額, さらに会費早期納入の特典について		
VII.	第 40 回日本地域学会年次大会 (平成 15 年 11 月 1-2 日)	...	12
	論文報告の募集, シンポジウムについて		
VIII.	<b>PRSCO</b> 大会	...	12
	論文発表の申込締切: 2 月 28 日 (abstract の提出)		
IX.	学会賞 授賞者選考候補者推薦の募集	...	13
X.	会員の移動	...	13
	『地域学研究』バックナンバー申込書	...	15
	正会員入会申込書	...	16

注意: 平成 15 年度会費請求書が同封されています。

## I. 会長挨拶

再生の2003年：会長就任の御挨拶

現代はリスクと不確実性の時代であります。10年前や20年前には予想できなかった事柄が次々と起こっています。2003年1月1日から2年間、私は日本地域学会会長に就任することになりましたが、これもそのような事柄のひとつかもしれないな、と考えております。学会の皆様からの御支持を衷心よりお願い申し上げます。

思いますのに、時代の経済は混迷し、経済学も閉塞状況にあります。経済の再生や経済学の再生が切に求められます。その為には、私たちは色々思い切った施策を行う必要があると思います。その際に重要なキーワードは、次の三つでしょう。それは「地域」、「リスク」、「半合理性」の三つです。

まず第1に、「地域」の重要性です。日本は小さく狭い国だと時に言われます。確かに、面積で測りますと、日本の国土はフランスより小さく、アメリカのカリフォルニア州にも及ばない有様です。だが、歴史地図や天気図をよく眺めると、日本の国土は一様でなく、北海道から沖縄まで、東西南北に長く広く伸びております。実は、私は昨年4月に35年ぶりに関西の郷里に戻りましたが、何か別の国に来たような錯覚に襲われます。自然も歴史も言葉も習慣も関東とは相当に違います。日本はひとつの国というよりも、幾つかの地域の連合体であるような気が致します。また、釧路で摂氏マイナス20度という同じ日に、石垣島ではプラス20度を記録することが起こります。従って、これからの経済学はグローバルな視点だけでなく、ローカルな視点からも考える必要があるでしょう。そのためには、地域経済学という学問が非常に有効な切り口を与えてくれると信じております。

第2に、「リスク」がますます重要な概念となっています。昔からの言葉に、「地震、雷、火事、親父」というのがあります。状況は今や一変し、「雷親父」はもはや過去の遺物となりました。昔と異なり現代では、人間のほうが大いに威張り出し、周りの自然環境に対して諸々の悪影響を及ぼしがちです。今のリスク観を端的に表わせば、「放射能、温暖化、

ゴミ、エイズ」とでも言えるでしょうか。

私は、アメリカの大学院から学位を頂いておりますが、その時の授業では「温暖化」や「ゴミ」の話はいわばタブーでした。人間が自然に対して与える悪影響は、しぶしぶ「外部不経済」として議論されるにすぎず、自然環境自体が「内部プレーヤー」として積極的に取り扱われることはありませんでした。リスクの経済学は私の十八番の分野ですが、確率分布によって記述不可能な「不確実性」の議論は、まだまだ不十分な段階にあります。

第3に、人間行動の「半合理性」が、もっと問題となってもよいのではないのでしょうか。人間が常に競争や効率性を目指す「経済人」である、という想定は余りにも現実離れしております。夏目漱石が名作『草枕』の中で述べたように、人間は「智」もあり、「情」もあり、「意」もある生き物です。人生は失敗の連続ですが、その中からノーベル賞級の発見・発明も出てくるのです。また、人間は概して「安心」を望みますが、同時に「夢」をも求めて挑戦します。

もちろん、人間は目茶苦茶に行動しているわけではなく、そこにある種の経済合理性が見受けられます。だが、何でも効用極大化、利得極大化と一元的にとらえるのは、あまりにも単純すぎるのではないのでしょうか。むしろ、人間の合理性はたかだか「半分」にしか過ぎず、このような「半合理性」の程度が品性や地域や歴史などによって異なるのだ、と考えるべきではないのでしょうか。人間は、血も涙もないロボットではありません。

思えば、私は学生時代から、随分長い間、経済学という学問を愛し、それなりに頑張ってきました。でも残念ながら、既存の経済学の状態に十分満足しておりません。「新しい世紀には新しい経済学を！」というのが、最近の私のモットーなのです。日本地域学会の大会やシンポジウムにおける議論の中から、学問の新しい方向性が出てくることを念じております。私自身も微力を尽くしたいと存じますので、何卒御支援のほど重ねてお願い申し上げます。

平成15年1月1日  
日本地域学会  
会長 酒井 泰弘

## II. 平成 14 年度日本地域学会総会報告

標記総会が、去る平成 14 年 10 月 5 日（土）13：20 より、北星学園大学図書館 A 教室で行われました。まず、はじめに日本地域学会会長（山村悦夫 北海道大学 教授）挨拶の後、外国からの来賓代表として、国際地域学会元会長 Peter Nijkamp 氏（Chairman of the Governing Board of Netherlands for Scientific Research(NWO)) よりご挨拶戴きました。この後、山村会長を議長として下記の通り審議と報告が行われました。

### 議題

#### 1) 新入会員・退会会員の承認

これに関して氷鉋総務担当常任理事より報告があり、個人会員 53 名、1 団体の入会および個人会員 23 名および 3 団体の退会を承認。

#### 2) 平成 13 年度収支決算の報告

これに関して加賀屋財務担当常任理事より支出状況が、白井監事より決算が適正であることが報告され、異議なく承認。

#### 3) 平成 14 年度収支予算

これに関して加賀屋財務担当常任理事より予算の説明があり、異議なく承認。

#### 4) 平成 15・16 年任期理事候補者の承認

これに関して氷鉋総務担当常任理事より、前回理事会の決定に基づく下記会員 30 名より構成される名簿が提示され、これを異議なく承認。

青山吉隆（京都大学） 浅見泰司（東京大学） 有吉範敏（熊本大学） 今泉博国（福岡大学） 白井功（横浜国立大学） 大西隆（東京大学） 加賀屋誠一（北海道大学） 河上省吾（関西大学） 河村能夫（龍谷大学） 木村吉男（岐阜聖徳学園大学） 熊田禎宣（千葉商科大学） 河野博忠（常磐大学） 斎藤参郎（福岡大学） 酒井泰弘（滋賀大学） 鈴木多加史（追手門学院大学） 高橋秀悦（東北学院大学） 田中啓一（日本大学） 多和田真（名古屋大学） 戸田常一（広島大学） 信国真載（名古屋市立大学） 原 勲（北星学園大学） 氷鉋揚四郎（筑波大学） 福岡克也（東亜大学） 藤岡明房（敬愛大学） 細江守紀（九州大学） 眞榮城守定（琉球大学） 三友仁志（早稲田大

学） 宮城俊彦（岐阜大学） 矢田俊文（九州大学） 山村悦夫（北海道大学）

#### 5) 第 40 回（2003 年）年次大会の開催地、開催校の承認

これに関して氷鉋総務担当常任理事より、次期大会の開催校を琉球大学とする事、また準備委員長を眞榮城守定次期新理事とすることが提案され、異議なく承認。

#### 6) 第 41 回（2004 年）年次大会の開催地、開催校の取り扱いの承認

これに関して氷鉋総務担当常任理事より、事務局へ一任する事が提案され、異議なく承認。

#### 7) その他

なし

### 報告

#### 1) 新入会員キャンペーンの継続

これに関して氷鉋総務担当常任理事より、引き続き勧誘キャンペーンを継続する事が報告された。

#### 2) 『地域学研究（第 33 巻）』編集委員会の構成

これに関して氷鉋総務担当常任理事より、規程に基づき、正副会長、常任理事、座長および会長指名の若干名で構成される事が報告された。

#### 3) 『地域学研究』第 32 巻の編集

これに関して青山 No.1 編集委員長より、編集状況が報告された。

#### 4) Studies in Regional Science Vol.31, 32 No.2 の編集

これに関して多和田 No.2 副編集委員長より、編集状況が報告された。

#### 5) RSAI の動向

これに関して氷鉋総務担当常任理事より報告があった。

#### 6) PRSCO の動向

これに関して氷鉋総務担当常任理事より報告があった。

#### 7) その他

なし

この後、2002 年度第 11 回学会賞の授与式が執り行われました。有吉選考副委員長より選考経過報告の後、山村会長から下記会員に各賞が授与されました。最後に、受賞者よりご挨拶いただき、総会は

無事閉会しました。

功績賞（第14号）鈴木多加史  
論文賞（第11号）宮田 謙「環境・経済統合勘定  
と一般均衡分析適用に関する研究」  
奨励賞（第15号）足達健夫「「ふるさと銀河線」  
活用による都市間鉄道輸送の改善」

著作賞（第1号）田中啓一「都市環境整備論—地  
球環境との共生を求めて」  
著作賞（第2号）中川大・松中亮治「Funding  
Transport Systems-A Comparison among  
Developed Countries-」  
著作賞（第3号）松行康夫・松行彬子「組織間学  
習論」  
著作賞（第4号）村山祐司「Japanese Urban  
System」  
著作賞（第5号）福井秀夫「都市再生の法と経済  
学」  
著作賞（第6号）久米良昭「競売の法と経済学」

### III. 理事会報告

平成14年度 第5回理事会（持ち回り）  
日時：平成14年8月26日（月）17：00  
議題

1. 日本学術会議太平洋学術研究連絡委員会地域学  
研究専門委員会主催のシンポジウム「地域学の現状  
と課題」の協賛

日本学術会議より標記の依頼があり、これを承  
諾する事を審議に付し、承認が得られた。

平成14年度 第6回理事会（持ち回り）  
日時：平成14年8月30日（金）17：00  
議題

1. インターネット資源選択的蓄積実験事業におけ  
る電子雑誌の収集等に係る許諾について

国立国会図書館関西館より日本地域学会のホー  
ムページ上に掲載しております『地域学研究』（題  
名及び一部はアブストラクトを掲載）及びニューズ  
レター（記事の一部を掲載）につき標記の依頼があ  
り、これを承諾する事を審議に付し、承認が得られ  
た。

2. 新入会員の承認

1名の個人会員候補を審議に付し、承認が得られ  
た。

平成14年度 第7回理事会（持ち回り）  
日時：平成14年9月30日（月）17：00  
議題

1. 新入会員の承認

3名の個人会員候補を審議に付し、承認が得られ  
た

日本地域学会 平成14年度 第8回理事会  
日 時：平成14年10月4日（金）17:00-19:00  
場 所：シェラトンホテル札幌

出席者：青山、有吉、井原、太田、加賀屋、河  
上、熊田、河野、酒井、鈴木、高橋、田中、多  
和田、信国、原、氷鮑、福地、藤岡、三友、山  
村の各理事（ただし、金、木村、黒川、関根、  
戸田、福岡、矢田の各理事より委任状付託）；オブ  
サーバとして白井、宮田の各監事；松行の広報副委  
員長；真栄城次期大会実行委員長；櫻井、渋澤、森  
島の各幹事；坂田事務局秘書  
議題

1. 新入会員・退会希望者の承認

前回理事会以降、申込のあった12名の正会員  
（個人会員）の入会と5名の正会員の退会希望を審議  
し、次回総会に諮る事を諒承。

2. 平成14年度第39回年次大会の運営

これに関して、氷鮑総務担当常任理事より、プ  
ログラムの変更が示され、諒承。総会次第につい  
ては役割分担を決定。

3. 次期年次大会開催地・開催校

これに関して氷鮑総務担当常任理事より、琉球  
大学が候補として提案され、これを諒承。

4. 次々期年次大会開催地・開催校

これに関して氷鮑総務担当常任理事より、東日  
本で検討中であることが報告され、その取り扱いに  
ついては事務局に一任することを諒承。

5. 平成15・16年期理事候補者名簿

これに関して氷鮑総務担当常任理事より、規程  
に基づく厳正なる選挙の結果、投票数上位者およ  
び地域・分野のバランスを考慮した30名の名簿が  
提示され、これを諒承。

6. 『地域学研究（第33巻）』編集委員会の構成

これに関して氷鮑総務担当常任理事より、規程

に基づき、正副会長、常任理事、座長および会長指名の外国人若干名で構成されることが報告され、これを諒承。

#### 7. 平成14年度会費未納者の措置

これに関して氷鉤総務担当常任理事より、例年通り紹介者の理事を通じて督促したい旨提案があり、これを諒承。

#### 8. 環太平洋地域学大会機構(PRSCO)2005年第19回大会組織委員会の構成

これに関して氷鉤総務担当常任理事より、田中理事を委員長、氷鉤理事を副委員長とする委員会の構成が提案され、これを諒承。

#### 9. 『地域学研究』投稿規程の件

これに関して氷鉤総務担当常任理事より、日本地域学会機関紙等審査料規程(案)が提案され、これを諒承。審議の結果、審査料を10,000円とすることを諒承。

#### 10. その他

##### 1) 第34回国際シミュレーション&ゲーミング学会大会後援の件

これに関して氷鉤総務担当常任理事より、後援依頼がきていることが報告され、これを諒承。

##### 2) 大会発表者の会員資格要件

これに関して氷鉤総務担当常任理事より、大会発表者全員が会員でなくてはならないという慣例を規格化することが提案され、これを諒承。

##### 3) PRSCO事務局主催の国際シンポジウム

これに関して氷鉤総務担当常任理事より、5、6、7日の午前に行われることが報告され、これを諒承。

#### 報告事項

##### 1. 平成14年度第4-7回理事会(持ち回り)

これに関して氷鉤総務担当常任理事より、全ての議題が異議無く承認され、総会に諮ることが報告された。

##### 2. 『地域学研究』第32巻No1., No.3の編集

これに関して青山No.1編集委員長より、編集状況が報告された。

##### 3. Studies in Regional Science Vol.31, No.2の編集

これに関して多和田No.2副編集委員長より、編集状況が報告された。

##### 4. RSAIの動向

##### 5. PRSCOの動向

##### 6. その他

#### 平成14年度第9回理事会(持ち回り)

日時:平成14年11月5日(火)17:00

#### 議題

##### 1. 日本・スウェーデン学術シンポジウム〜北欧の改革・日本の改革への共催

(社)日本不動産学会およびPPR研究会などより標記の依頼があり、これを承諾することを審議に付し、承認が得られた。

#### 日本地域学会平成14年度第10回理事会

日時:平成14年12月15日(日)12:30-14:00

場所:日本交通政策研究会 会議室

出席者:青山, 有吉, 太田, 加賀屋, 河野, 酒井, 鈴木, 高橋, 田中, 信國, 原, 氷鉤, 福地, 三友, 山村の各委員(ただし, 井原, 今泉, 河上, 木村, 熊田, 黒川, 関根, 多和田, 戸田, 藤岡の各理事より委任状付託);オブザーバとして臼井, 宮田の各監事;眞榮城大会準備委員長;桜井, 浅澤, 水野谷, 森島の各幹事;坂田事務局秘書  
議題

##### 1. 新入会員・退会希望者の承認

前回理事会以降、申込のあった9名の正会員の入会と3名の正会員の退会希望を審議し、次回総会に諮る事を諒承。

##### 2. 第39回(2002年)年次大会の会計報告

これに関して原大会実行委員長および氷鉤総務担当常任理事より、会計報告が行われ、これを了承。

##### 3. 第40回(2003年)年次大会準備委員の構成

これに関して眞榮城大会準備委員長より、開催校側の準備委員候補が示され、これに理事および幹事を含めて委員会を構成する事を諒承。

##### 4. 第40回(2003年)年次大会の平行セッションおよびシンポジウムの編成

これに関して氷鉤総務担当常任理事より提案があり、開催校実行委員および事務局に一任することを諒承。

#### 5. 名誉会員の推薦

これに関して熊田名誉会員推薦委員会委員長に代わり氷鉤委員より、以下の候補が提案され、次回総会に諮る事を諒承。

名誉会員候補者

河野博忠

蔵下勝行

福岡克也

#### 6. 『地域学研究』セット販売の推進

これに関して氷鉤総務担当常任理事より、『地域学研究』のセット販売推進が提案され、これを諒承。

#### 7. 新入会員勧誘キャンペーン

これに関して氷鉤総務担当常任理事より、引き続き勧誘キャンペーンを継続する事が提案され、担当者を若干変更した後、これを諒承。なお、各理事の任期中に2名の入会推薦を行うという目標を確認。

#### 8. その他

##### (1) 日本経済学会連合国際会議派遣候補者の推薦の取扱

これに関して氷鉤総務担当常任理事より、例年通り扱うことが報告された。

報告事項

1. 『地域学研究』第33巻No.1の編集
2. Studies in Regional Science, Vol.31-33, No.2の編集
3. RSAIの動向
4. PRSCOの動向
5. その他

日本地域学会 平成15・16年期 新理事会

日時：平成14年12月15日(日)14:30-15:10

場所：日本交通政策研究会 会議室

出席者：青山、浅見、有吉、白井、加賀屋、河野、斎藤、酒井、鈴木、高橋、信國、原、氷鉤、眞榮城、三友、山村の各次期新理事(ただし、今泉、河上、河村、木村、熊田、田中、

多和田、藤岡、細江、宮城の各次期新理事より委任状付託); オブザーバとして宮田監事; 桜井、渋澤、水野谷、森島の各幹事; 坂田事務局秘書

#### 報告事項

##### 1. 平成15・16年期理事会の構成

氷鉤事務局長より前回総会の承認に基づき就任承諾事務手続を経た次期新理事の名簿が示され、その後自己紹介が行われた。

審議事項

##### 1. 平成15・16年期役員人事

慣例に従い山村現会長より、次期会長候補として酒井泰弘理事が推薦され、全会一致で同理事を次期会長に選出した。休憩の後、酒井次期会長より、副会長、常任理事等の推薦があり、各役員を以下のように選出した。

副会長

青山吉隆

熊田禎宣

信國真載

総務担当常任理事

氷鉤揚四郎

財務担当常任理事

加賀屋誠一

監事

松岡勝博

宮田 譲

##### 2. その他

各種委員会の再構成等については、慣例どおり新執行部に一任することを諒承。

#### IV. 編集委員会報告

第1回『地域学研究(33巻)』編集委員会

日時：平成14年12月15日(日)10:30-12:00

場所：日本交通政策研究会 会議室

出席者：青山、阿部、有吉、白井、太田、加賀屋、河野、酒井、鈴木、田中、多和田、信國、原、萩原、氷鉤、福地、眞榮城、松行、三友、宮田、山村の各委員(ただし、五十嵐、井原、今泉、河上、衣笠、木村、熊田、徳永、藤岡、細江の各委員より委任状付託); 桜井、渋澤、水野谷、森島の各幹事; 坂田事務局秘書

## 議題

### 1. 『地域学研究』第33巻 No.1 の掲載候補論文の選考

座長評価表に基づき、投稿を依頼する候補を選考。

### 2. 投稿論文他のレフェリーの選出

投稿論文5編のレフェリーを選出。

### 3. 今年度投稿論文の取り扱い

氷鉤総務担当常任理事より、今年度の投稿論文の取り扱いについて、これを随時受け付け、通常の審査プロセスにのせたい旨の提案があり、これを了承。なお、その場合、必要に応じて持ち回り編集委員会などの開催もあり得ることを了承。

### 4. 同上機関誌印刷方針

氷鉤総務担当常任理事より、35-40編程度(内英文を10-12編)を目途として発刊する予定であることが報告され、これを諒承。

### 5. 同上機関誌書評欄応募函書の取扱い

例年通り応募があった場合の書評執筆者を編集委員長および事務局に一任することが提案され、これを諒承。

### 6. Studies in Regional Science, Vol.31-33, No.2 の編集

多和田 No.2 編集副委員長より、Vol.31,32 については印刷中であり、Vol.33 については、2編が査読を完了し、2編が査読中であることが報告された。

### 7. 平成15年度第12回学会賞の選考方針

氷鉤総務担当常任理事より、候補を公募すること、および次回編集委員会で選考を行うことが提案され、これを諒承。

### 8. その他

## V. 役員人事等

2003・2004 年 期 日本地域学会事務局および各種委員会等の構成についてお知らせいたします。

### 1. 日本地域学会事務局

#### 会 長

酒井泰弘(滋賀大学)

#### 副会長

熊田禎宣(千葉商科大学)

青山吉隆(京都大学)

信國眞載(名古屋市立大学)

総務担当常任理事(事務局長)

氷鉤揚四郎(筑波大学)

財務担当常任理事

加賀屋誠一(北海道大学)

庶務担当常任理事

氷鉤揚四郎(前出)

理事

浅見泰司(東京大学)

有吉範敏(熊本大学)

今泉博国(福岡大学)

臼井功(横浜国立大学)

河上省吾(関西大学)

河村能夫(龍谷大学)

木村吉男(岐阜聖徳学園大学)

河野博忠(常磐大学)

斎藤参郎(福岡大学)

鈴木多加史(追手門学院大学)

高橋秀悦(東北学院大学)

田中啓一(日本大学)

多和田真(名古屋大学)

戸田常一(広島大学)

原 勲(北星学園大学)

福岡克也(東亜大学)

藤岡明房(敬愛大学)

細江守紀(九州大学)

眞榮城守定(琉球大学)

三友仁志(早稲田大学)

宮城俊彦(岐阜大学)

矢田俊文(九州大学)

山村悦夫(北海道大学)

監事

松岡勝博(那須大学)

宮田譲(豊橋技術科学大学)

第40回年次大会準備委員会および実行委員会

委員長: 眞榮城守定(前出)

学術委員会

委員長: 田中啓一(前出)

副委員長: 熊田禎宣(前出)

副委員長: 水鉋揚四郎 (前出)

#### 広報委員会

委員長: 水鉋揚四郎 (前出)

副委員長: 松行康夫 (東洋大学)

副委員長: 萩原清子 (東京都立大学)

#### 名誉会員推薦委員会

委員長: 熊田禎宣 (前出)

副委員長: 藤岡明房: (前出)

#### 『地域学研究 (第 33 巻)』編集委員会

委員長: 原勲 (前出)

副委員長: 青山吉隆 (前出)

#### 学会賞選考委員会 (第 12 回)

委員長: 青山吉隆 (前出)

副委員長: 関根正行 (東北学院大学)

#### *Studies in Regional Science, no.2*

#### 編集委員会 (Editorial Board)

##### Editor:

多和田眞 (前出)

##### Co-Editor:

太田浩 (青山学院大学)

伊東洋三 (専修大学)

松本昭夫 (中央大学)

##### Managing Editor:

水鉋揚四郎 (前出)

#### 学会幹事 (会則第 18 条第 6 項)

##### (1) 事務局幹事

#### 総務・財務・庶務担当常任理事付

森島隆晴 (敬愛大学)

渋澤博幸 (豊橋技術科学大学)

水野谷剛 (筑波大学)

##### (2) 委員会幹事

#### 学術委員会

飯田太郎 (TALO 企画)

桜井一宏 ((財) 地域開発センター)

田中正秀 (金澤星稜大学)

#### 名誉会員推薦委員会

松村有二 (産能大学)

#### 学会賞選考委員会

桜井一宏 (前出)

#### 事務局 事務秘書

坂田道子 (筑波大学 農林工学系 水鉋研究室秘書)

##### 事務局所在地

筑波大学 農林工学系 水鉋研究室内

〒 305-8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1

tel:+81-29-853-7221(fax)

sec@jsrsai.envr.tsukuba.ac.jp

## 2. 第 40 回 (2003 年) 年次大会 準備委員会および実行委員会

今年度の年次大会は、琉球大学 (〒 903-0213 教育学部 沖縄県中頭郡西原町千原 1) で開催されます。主として、その開催準備の労をおとり頂く準備委員会委員の方々は以下のとおりです。

委員長 (準備委員長): 眞榮城守定 (前出)

#### 委員:

富川盛武 (沖縄国際大学 商経学部)

藤田陽子 (琉球大学 法文学部)

大城常夫 (琉球大学 法文学部)

大城 保 (沖縄国際大学 商経学部)

なお、この他に学会役員および幹事が準備委員の任に当たります。また、当日の実行委員会は上記準備委員会で構成します。

## 3. 学術委員会

委員長: 田中啓一 (前出)

副委員長: 熊田禎宣 (前出)

副委員長: 水鉋揚四郎 (前出)

#### 委員:

青山吉隆 (前出)

有吉範敏 (前出)

加賀屋誠一 (前出)

鈴木多加史 (前出)

多和田眞 (前出)

信國眞載 (前出)

福岡克也 (前出)

#### 幹事:

飯田太郎 (前出)

田中正秀 (前出)

桜井一宏 (前出)

#### 4. 広報委員会

委員長: 水鉤揚四郎 (前出)

副委員長: 松行康夫 (前出)

副委員長: 萩原清子 (前出)

委員:

有吉範敏 (前出)

加賀屋誠一 (前出)

戸田常一 (前出)(西部担当)

原 勲 (前出)(東部担当)

松本昭夫 (前出)

三友仁志 (前出)

山崎 朗 (九州大学)

幹事:

事務局幹事

#### 5. 名誉会員推薦委員会

委員長: 熊田禎宣 (前出)

副委員長: 藤岡明房 (前出)

委員:

加賀屋誠一 (前出)

多和田 眞 (前出)

水鉤揚四郎 (前出)

幹事:

松村有二 (前出)

#### 6. 『地域学研究(第33巻)』編集委員会および第12回学会賞選考委員会

規程により、標記編集委員会は平成14年度年次大会実行委員長が編集委員長、前巻の編集委員長が副委員長となり、会長、副会長および総務、財務、庶務の各担当常任理事および年次大会各セッションの座長が中心となって構成されます。また、標記の学会賞選考委員会は、同編集委員会委員が委員を兼任し、前巻編集委員長が委員長、同副委員長が副委員長となって構成され、各々以下のとおりです。

『地域学研究(第33巻)』編集委員会

委員長: 原勲 (前出)

副委員長: 青山吉隆 (前出)

委員:

阿部宏史 (岡山大学)

有吉範敏 (前出)

五十嵐日出夫 (北海学園大学)

井原健雄 (香川大学)

今泉博国 (前出)

臼井功 (前出)

太田浩 (前出)

加賀屋誠一 (前出)

河上省吾 (前出)

衣笠達夫 (流通科学大学)

John Quigley\* (*Univ. of California, Berkeley*)

金 裕赫 (檀国大学校)

木村吉男 (前出)

熊田禎宣 (前出)

河野博忠 (前出)

酒井泰弘 (前出)

鈴木多加史 (前出)

Michael Sonis\* (*Bar-Ilan University*)

Roger Stough\* (*George Mason Univ.*)

田中啓一 (前出)

多和田眞 (前出)

徳永澄憲 (筑波大学)

Peter Nijkamp\* (*Free University, Amsterdam*)

信国真載 (前出)

萩原清子 (前出)

水鉤揚四郎 (前出)

Geoffrey Hewings\* (*Illinois University*)

福岡克也 (前出)

福地崇生 (朝日大学)

藤岡明房 (前出)

Jacques Poot\* (*Victoria Univ. of Wellington*)

David Plane\* (*Arizona University*)

Peter Batey\* (*Liverpool University*)

Kingsley Haynes\* (*George Mason University*)

細江守紀 (前出)

眞榮城守定 (前出)

松行康夫 (前出)

三友仁志 (前出)

宮田讓 (前出)

Gordon Mulligan\* (*Univ. of Arizona*)

山村悦夫 (前出)

Lars Lundqvist\* (*Royal Inst. of Tech.*)

(\* 理事会推薦による会長委嘱)

学会賞選考委員会 (第 12 回)

委員長: 青山吉隆 (前出)

副委員長: 関根正行 (前出)

幹事: 桜井一宏 (前出)

委員: 上記編集委員

7. Editorial Board of *Studies in Regional Science*, no.2

*Editor*

Makoto Tawada (Nagoya University)

*Co-Editor*

Hiroshi Ohta (Aoyama Gakuin University)

*Co-Editor*

Yozo Ito (Senshu University)

*Co-Editor*

Akio Matsumoto (Chuo University)

*Associate Editors*

Peter Batey (University of Liverpool)

Kingsley Haynes (George Mason Univ.)

Geoffrey Hewings (Illinois Univ.)

Hitoshi Kondo (Nanzan Univ.)

Lars Lundqvist (Royal Inst. of Tech.)

Toshihiko Miyagi (Gifu Univ.)

Gordon Mulligan (University of Arizona)

Peter Nijkamp (Free Univ.)

Makoto Nobukuni (Nagoya City Univ.)

David Plane (Arizona University)

Jacques Poot (Victoria Univ. of Wellington)

John Quigley (Univ. of California, Berkeley)

Yasuhiro Sakai (University of Tsukuba)

Michael Sonis (Bar-Ilan University)

Roger Stough (George Mason University)

*Managing Editor*

Yoshiro Higano (Univ. of Tsukuba)

8. Council of the RSAI and Council of the PRSCO of the RSAI

(国際地域学会および同環太平洋地域学会機構 理事会)

**RSAI Council**

*Councillor:*

河野博忠 (PRSCO 選出)(前出)

**PRSCO Council**

*Councillor & Executive Secretary*

氷鉋揚四郎 (前出)

*Councillor:*

田中啓一 (前出)

多和田眞 (前出)

宮田 謙 (前出)

2005 年第 19 回環太平洋地域学会機構国際大会 (第 19 回 PRSCO 東京大会)

準備委員会委員長 田中啓一 (前出)

同副委員長 氷鉋揚四郎 (前出)

9. 第 18 期日本学術会議会員および研究連絡委員会委員等

会員, 第 3 部 部長

河野博忠 (前出) (日本地域学会 推薦)

会員, 第 3 部 幹事

田中啓一 (前出) (日本不動産学会 推薦)

会員

熊田禎宣 (前出) (日本計画行政学会 推薦)

経済政策研究連絡委員会 委員長

熊田禎宣 (前出)

経済政策研究連絡委員会 委員, 幹事

氷鉋揚四郎 (前出) (日本地域学会 選出)

経済政策研究連絡委員会 委員

酒井泰弘 (前出)(生活経済学会 選出)

矢田俊文 (前出)(経済地理学会 選出)

地球環境研究連絡委員会 委員長

田中啓一 (前出)

地球環境研究連絡委員会 委員

有吉範敏 (前出), 岡部篤行 (東京大学), 熊田禎宣 (前出), 林良嗣 (名古屋大学)

HDP 専門委員会 委員長

熊田禎宣 (前出)

HDP 専門委員会委員

有吉範敏 (前出), 岡部篤行 (前出), 林良嗣 (前出)

## 10. 日本経済学会連合

評議員 (日本地域学会選出)

福岡克也 (前出)

藤岡明房 (前出)

「日本経済学会連合 英文年報」への日本地域学会分の担当係

編集委員: 細江守紀 (前出)

執筆担当: 三友仁志 (前出)

## 11. 地理関連学会連合

担 当:

伊藤達雄 (名古屋産業大学)

氷鉋揚四郎 (前出)

12. IRSR(*International Regional Science Review*)の Editorial Board Member (日本地域学会推薦)

高橋秀悦 (前出)

信国真載 (前出)

## VI. 平成 15 年度 日本地域学会 会費納入のお願い

日本地域学会 会員 各位

日本地域学会  
会長 酒井泰弘

謹啓 貴会員におかれましては益々御健勝のこととお喜び申し上げます。さて、早速ですが、同封致しました請求書のとおり、日本地域学会平成 14 年度会費をご請求申し上げますので、

納入期限: 平成 15 年 3 月末日

までに同封の振込用紙にてお支払い頂けますようお願い申し上げます。なお、預金口座引き落としの手続きを平成 15 年 3 月 20 日までに完了された方には、平成 15 年 6 月 27 日に請求内容にしたがって引落としを行いますので、新たに預金口座引き落としをご希望の方は事務局までお早めにご連絡下さい。預金口座振替依頼書をお送り致します。何かと出費のかさむ折から誠に恐縮ですが、事務処理の円滑化および再度にわたる督促の経費節減、さらに予想されます円安傾向の為替リスク回避のため上記期限までの早期納入

にご協力いただけますよう、かさねてお願い申し上げます。敬具

1. 平成 15 年度 日本地域学会 会費等 (適用期間限定)

(1) 平成 15 年度 (平成 15 年 4 月 1 日 - 平成 16 年 3 月 31 日) 国内会費 **7,000 円**

(2) 2003 年度 (2003 年 1 月 1 日 - 2003 年 12 月 31 日) 国際会費 **9,000 円 (US\$65.00)**

(3) *International Regional Science Review* 誌 (割引) 講読料 **3,000 円 (US\$20.00)**

(4) 学生会費 **9,500 円**: 学生である会員については、国内会費 + 国際会費 + *IRSR* 誌 (割引) 講読料をセットで、9,500 円に割り引きします。身分証明証のコピーを fax 等で事務局宛お送りのうえ、請求書の金額にかかわらず、9,500 円をご納入下さい。

但し、これらの会費、講読料が適用されるのは、

(a) 納入期限: 平成 15 年 3 月末日までに上記会費を納入された日本地域学会 会員の方、または (b) 平成 15 年 3 月 20 日までに預金口座引き落としの手続きを完了された日本地域学会 会員の方に限ります。

## 2. 国際会費の期限内納入の特典

日本地域学会 理事会では、本学会所属の RSAI 会員 directory の本部送付を例年どおり 4 月上旬とすることにしました。今まで RSAI 会員であった方は、3 月下旬までに特にお申し出がない限り継続扱いとなります。この点ご注意願います。

また、これに関連して外国為替市場の成り行きが不透明なこともあって、期限を遅れて RSAI 会費をご納入頂く場合には、著しく為替差損を生じ、これを日本地域学会の一般会計が負担しなければならぬ危険がかなり高いものと見込まれます。

このようなことを考慮して、上記納入期限に遅れた場合には、

(1) 国際会費として **11,000 円**を請求する、

(2) *IRSR* 誌 (割引) 講読料として **4,000 円**を請求する

(3) 学生割引を行わない。

ということを理事会で決定致しております。この主旨をご理解いただき、会費関連の事務処理の円滑化、経費節減にご協力頂けますよう、事務局からも重ねてお願い申し上げます。

## VII. 第40回日本地域学会年次大会 (平成15年11月1-2日) 論文報告の募集

平成15年度(2003年)日本地域学会第40回年次大会は、琉球大学において下記のとおり開催されます。会員諸賢におかれましては論文報告、特別セッションの編成等、奮ってご参加ください。

### 記

開催日時: 平成15年11月1日(土)-2日(日)  
開催校: 琉球大学  
開催地: 〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1  
琉球大学 教育学部  
大会準備委員会 委員長: 眞榮城守定  
(琉球大学教育学部教授 日本地域学会理事)

#### 共通論題:

- (a) 情報通信技術と空間経済
- (b) 地方分権と地方財政
- (c) 地域および地球環境
- (d) 道路交通とネットワーク
- (e) テーマパークと地域発展
- (f) 大都市問題
- (g) 持続可能都市・地域システム
- (h) 中心市街地空洞化問題
- (i) 多地域経済成長モデル
- (j) 地域産業政策
- (k) 地域の金融機能
- (l) グローカリズム
- (m) 構造改革と地域政策

一般論題: 立地、人口移動、地域経済、等の地域学一般の課題すべて

総会日時: 平成15年11月1日(土)  
13:20-(予定)

(公開)シンポジウム日時:  
平成15年11月1日(土) 14:20-(予定)

シンポジウム・テーマ: 特区政策と地域発展 (仮題)  
以上

[論文報告]を希望される方は、

1. 論文タイトル
2. 上記が和文の場合には、同英文訳

3. 著者名, 所属(複数の場合には、発表者を明記)
4. 同上英文表記
5. Abstract: 和文(700字以内)および英文(200 words以内)の双方を提出
6. 対応責任者氏名, 連絡先住所, tel, fax, e-mail アドレス等
7. 希望討論者2名(会員に限る; 場合によっては、希望通りとならないことをあらかじめご承知おき下さい)

を明記して、また

[特別セッション編成]を希望される方は、

- (i) セッションタイトルおよびセッションの意図、内容等の概要(和文300字以内、英文100words以内)
- (ii) 座長(1-2名の会員)氏名, 所属, 同英文表記
- (iii) 1セッション当り, 3-4編の報告を目途に各論文についての上記論文報告希望に準ずるデータ。但し、討論者は、各々の論文について1名でも可。

を明記して、e-mail, fax または封書等で奮ってご応募下さい(応募締め切: 平成15年5月31日)。

問い合わせおよび論文報告等の応募は以下へお願いいたします。

氷鉤揚四郎(ひがのようしろう)

日本地域学会

事務局長(総務担当常任理事)

筑波大学 農林工学系 教授

〒305-8572 つくば市天王台 1-1-1

tel, fax: +81-29-853-7221

E-mail: higano@jsrsai.envr.tsukuba.ac.jp

## VIII. PRSCO 大会: 平成15年7月1-4日

第18回PRSCO大会が、平成15年7月1日-4日の日程で、メキシコのアカプルコで開催されます。アブストラクトの提出期限が、2月28日まで延長されています。会員諸賢におかれましては奮って応募のうえご参加下さい。大会準備委員会より Hotel の部屋が、特別料金でUS\$65.00よりご利用いただけます。大会に関する詳しい情報は、下記サイト:

<http://prSCO.agbi.tsukuba.ac.jp/>

Meetings/call18th.html

または、日本地域学会事務局へお問い合わせ下さい。

日本地域学会がメインとする国際大会の一つでありますので会員諸賢におかれましては奮ってご参加ください。

## IX. 学会賞 授賞者選考候補者推薦の募集

日本地域学会では、地域学 (regional Science) の発展に貢献するすぐれた会員の業績をたたえるため、日本地域学会 学会賞を毎年授与しています。今年度も第 12 回日本地域学会 学会賞授賞者選考候補者推薦の募集を行いますので、どうか奮ってご応募下さい。

学会賞は以下の各賞からなります。

**功績賞:** 地域学の進歩および学会の運営に顕著な貢献をなした会員を表彰する。

**論文賞:** すぐれた研究論文によって地域学の発展に著しく寄与し、研究業績の意義や貢献が多である会員を表彰する。

**奨励賞:** 若手研究者ですぐれた研究論文を発表した会員を表彰する。

**著作賞:** 地域学の発展に著しく貢献し、その意義や貢献が多であると判断できる著作物を表彰する。

功績賞、論文賞および奨励賞受賞者には、賞状と純銀製メダルが、また著作賞受賞者には賞状がそれぞれ授与されます。

(<http://jsrsai.envr.tsukuba.ac.jp/Award/appljap.html> を参照)

### 第 12 回日本地域学会学会賞 授賞選考候補者 推薦 応募要領

◇**応募期限:** 平成 15 年 4 月 9 日 (水) (事務局必着)

◇**応募方法:** 功績賞への応募は他薦のみですが、論文賞、奨励賞および著作賞への応募は自薦、他薦の別を問いません。

◇**推薦資格:** 推薦者は、日本地域学会会員であることが必要です。

◇**受賞資格等:**

(1) 論文賞および奨励賞の表彰対象となる研究業績は、過去 2 年間 (暦年) に発表したもので、その主たるものが本学会関連誌『地域学研究 (*Studies in Regional Science*)』および *Papers in Regional Science of the RSAI* に掲載されている論文であることが条件です。

(2) 奨励賞の応募については、年齢がその表彰対象となるべき主たる研究業績の発表当時 35 才未満であったことが必要です。

(3) 著作賞の表彰対象となる著作物は以下の何れかです。なお、詳しくは、平成 14 年 5 月 15 日発行の kaiinmeibo84 ページをご覧ください。

一 過去 5 年以内に出版もしくは公表された研究図書

二 過去 5 年以内に出版もしくは公表された研究もしくはプロジェクト成果報告書等

三 過去 5 年以内に出版もしくは公表された教科書もしくはマニュアルなどの教則本等

四 過去 5 年以内に出版もしくは公表された辞書、辞典もしくは用語集等

五 上記の他、過去 5 年以内に出版もしくは公表された著作物であって学会賞選考委員会が著作賞の表彰に値するものと認めたもの

◇**選考方法:** 「日本地域学会 学会賞 (奨励賞・論文賞・功績賞) に関する規程」および「日本地域学会著作賞に関する規程」に基づく選考委員会の審議による。決定次第、受賞者には連絡します。

◇**授賞式:** 第 40 回年次大会における総会 (平成 15 年 11 月 1 日 (土) 琉球大学) にてとりおこないます。

◇**応募用紙の請求:** 日本地域学会事務局まで賞の種類を明記してご請求下さい。

## X. 会員の移動

新入会員

正会員

MD. Akhtaruzzaman(あくたーるざまん)

磯 行雄(いそ ゆきお)

磯本 征雄(いそもと ゆくお)

井ノ口 弘昭(いのくち ひろあき)

浦上 拓也(うらかみ たくや)

金崎 雅之(かなざき まさゆき)

唐澤 徹(からさわ とおる)

岸 勇希(きし ゆうき)

北詰 恵一(きたづめ けいいち)

久米 良昭(くめ よしあき)

酒井 勇(さかい いさむ)

佐久田 昌昭(さくた まさあき)

島田 洋一(しまだ よういち)

Schlunze, Rolf D.(しゆるんつえ ろるふ)

鄭 東錫(じょん どんすく)

孫 淑琴(そん しゆくきん)

田口 祥一(たぐち しょういち)

田村 三智子(たむら みちこ)

車 相龍(ちゃ さんりょん)

中村 正治(なかむら しょうじ)

保永 由美(ほなが ゆみ)

増田 耕司(ますだ こうじ)

山浦 晴男(やまうら はるお)

山口 真実(やまぐち まみ)

和田 崇(わだ たかし)

退会会員

荒川 潔

岡田 憲夫

奥野 隆史

下沢 洋一

朴 昭貞

小林 清晃

小坂 弘行

弓削 善夫